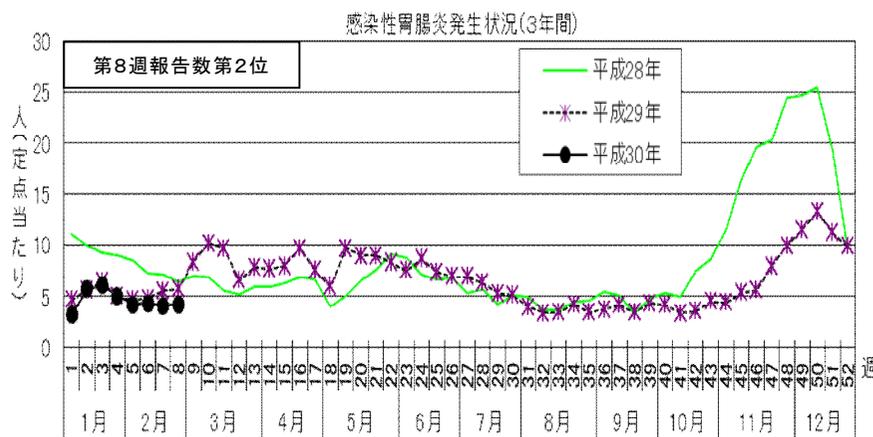
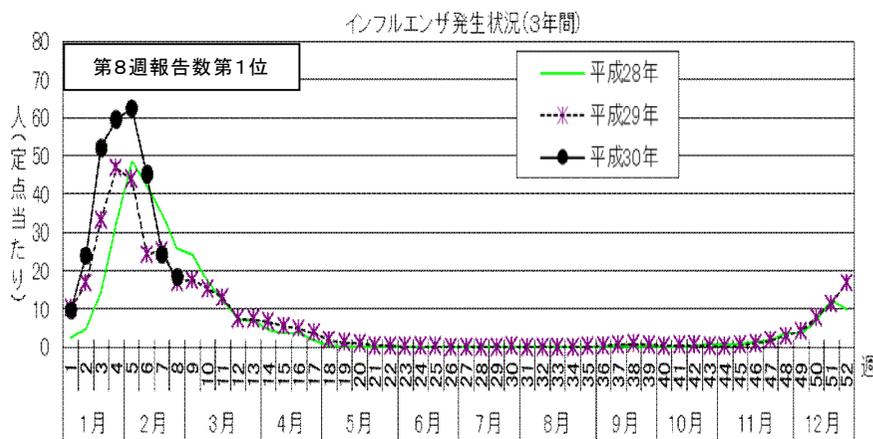


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年2月19日（月）～平成30年2月25日（日）〔平成30年第8週〕の感染症発生状況

第8週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は18.46人と前週（24.36人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.19人と前週（4.08人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.49人と前週（1.70人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



「子ども予防接種週間」3月1日（木）～3月7日（水）

3月1日（木）～3月7日（水）は「子ども予防接種週間」です。この機会に母子健康手帳で予防接種歴を確認し、定期予防接種が済んでいないお子さんは、早めに必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう。

特に、麻しんはワクチンで予防できる疾患にもかかわらず全国では平成27年と比べて、平成28年、平成29年は麻しんの患者届出数が多くなっています。麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）第2期接種対象者は、小学校入学前に必ず接種を受けましょう。※3月31日までが無料で受けられる期間です。

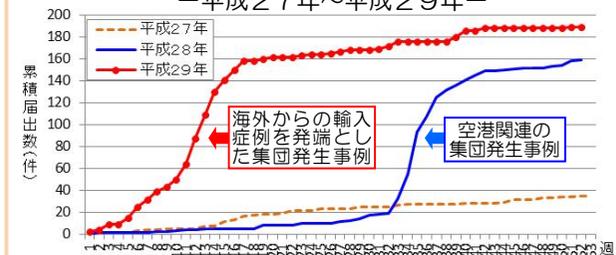
小児の定期予防接種のワクチン一覧

- ◆Hib 感染症（ヒブワクチン）
- ◆小児の肺炎球菌感染症（小児用肺炎球菌ワクチン）
- ◆B型肝炎
- ◆ジフテリア、百日せき、ポリオ、破傷風（第1期：DPT-IPV）（第2期：DT）
- ◆BCG（結核）
- ◆麻しん・風しん（MR）
- ◆水痘（水ぼうそう）
- ◆日本脳炎
- ◆ヒトパピローマウイルス感染症（HPVワクチン）

定期予防接種の詳細については、川崎市のホームページをご覧ください。



全国における麻しんの累積届出数
—平成27年～平成29年—



麻しん・風しん（MR）定期予防接種の対象者

- 第1期 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- 第2期 小学校入学前の年度1年間（4月1日～翌年3月31日）